

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 1 月 2 2 日 (水)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	0人	2人	6人	8人

前回の改善計画
夜勤時、自分がこの人を書くを決めファイルを持ちこむ。全体で2週間記入する人を決め行う。サンプルイさんに機能評価をしてもらい、マップに書くこともアセスメントとして取り入れる。

前回の改善計画に対する取組み結果
初めのうちはファイルを持ってきて夜勤時書き込みをしていたが、段々としなくなった。宿泊ご利用者の数が増えたことで、できなくなったのだが、この計画が実施できなくなったからの改善提案をしていなかった。日中は書けないと思いこんでしまっていた。長くご利用になっている方の事は知っているつもりになって更に情報を得るといった感覚が少なくなっていた。記録に書くことはできるけれど、アセスメント様式に記録するとなると難しく感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	4	4	0	8
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	0	0	8
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	5	0	0	8
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新しい方にはできる限り積極的に関わり関係作りに心がけた。
ご利用者全員に新規の方のことを話したり、ご利用者同士で話せるよう工夫をした。
朝礼時に様子などを報告をしあって共有をはかっている。
ご家族にご利用された日の晩の様子を聞く。人の集まりに入ることを気にいって頂けるように工夫する。
例えば、好きなレクリエーションを意識して取り入れたり、話を聞く(好きな事、これまでしてきたことなど)ことをする。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
得た情報を後から書こうと思って書いてなかったりして、聞くことはできても書くことができない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
個々でメモ帳を持ち歩く、送迎車にもメモを置きご本人の言葉、聞き取った内容を書き留める。書いた情報をその都度、個別記録の袋ファイルに入れ込む。そして、朝礼時にその書いてあるメモの情報を話し合い、アセスメントシートに分類し記入する。初期の方については、毎朝朝礼で様子などを話し合い共有することを続ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月20日(水)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰、岩元

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	4人	3人	8人

前回の改善計画
まずはプランのゴールを把握することが必要。そして個別の話をを行う。それからミーティングに挙げる。

前回の改善計画に対する取組み結果
全員分プランを書き写して、確認するようにしたスタッフがいた半面、プランを全員分見ていなかったスタッフもいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	1	6	1	8
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	5	1	8
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	5	0	8
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	2	2	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご本人の以前の暮らしぶり、ご家族から聞き知ろうとした。
話が聞けてその情報から本人のできること、それに近づけることが把握できていて実践している。
当面の目標としては元気で歩ける、動けるが大前提として体調変化に気をつけている。
本人からできる限り話をきいて支援を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
プランを具体的に明文化できていない。勤務時間内にプランの確認ができていない。出来ていないことをそのままにして、改善を考えて取り組まなかった。ゴールに対して、ご利用者との普段の関わりの中で意識するということできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
1名のプランを朝礼時のミーティングで取り上げる。更に必要があればカンファレンスに提案する。
先ずは一巡するまで順次行う。その後、ケアマネから提案されたご利用者についてモニタリングやプラン変更について話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年12月20日(水)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰、岩元

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	0人	8人

前回の改善計画
家族や地域の方に話を聞く。分かっている情報があるなかで、本人に再確認して返って来た情報が大事と思う。ふとした時に話すことが大事なのかなと思う。自分からいきいきと話すことが大事。自分たちが楽しい、聴きたいと思うことが伝わった時に本人が話してくれる。

前回の改善計画に対する取組み結果
送迎の時など仕事の合間ではご家族に話を聞くことをしていなかった。ケアマネとして訪問して話を聴く機会は作れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	4	3	8
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	7	1	0	8
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	5	0	8
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	7	1	0	8
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	8	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
基礎的ケアはできている。変化に対してスタッフ間で共有できている。
変化を申し送りやミーティングで確認、共有している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
公休だったり、ミーティングが朝礼時になることから参加ができなくなったスタッフもいる。
ご本人が答えられるものは把握をしているが、話せなくなったことなどそれ以外のことが把握できていない。その時、その日の会話が多くなり、以前のことに記憶をさかのぼってまでは踏み込めていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
基礎的ケアについては生活記録を活用し、予後予測を立て支援を行う。
朝の挨拶や体操の時に、テーマを決めて毎回、ご本人に聞く(子供のころの夢等々)。個人では出てこない思い出も集団で話すことで想起できることがある。その会話を糸口にご本人の大事にされている「思い」を聞き取る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年12月20日(水)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒岩・市原・原野・有菌・小山・工藤・鶴田・丸山・繰・岩元

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2	4	2	8

前回の改善計画
毎月の全体会議でその月の機関紙をみんなで見て意見を出し合い、配布先と来月の記事の担当まで決める。ご利用者と話をし、その時そこに行くことで、地域の方と話せる。得意不得意があるのでスタッフ全員で取り掛かる。行きたいときに動かないと行けなくなる。周りが「行ってきて」と送り出せるようにする！

前回の改善計画に対する取組み結果
会議で機関紙を確認する、意見を出し合うことを徐々にしなくなった。担当以外のスタッフは送り出すことを意識していなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	5	1	8
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	1	5	2	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	3	1	8
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	3	4	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎をしてくださるご家族に、ご自宅の様子をできる限りお聞きしている。
機関紙をスタッフと協力しながら作れた。
ご本人から自宅でどのように過ごしているかをお聞きし把握している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご家族に送迎時などお会いすることがあっても、自分から話しかけることができていなかった。
これまでの人間関係を聞いても、そこから踏み込んで知ろうとはしていない。
よいどこいに朝から夕食までいらっしゃる方は特に今の暮らしに必要な資源を把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
天気の良い日に外にでる機会を増やし、地域の皆さんと挨拶をし、ご利用者を知ってもらい機会をつくる。その人を中心とした関係マップを朝礼等を利用して作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年1月 9日 (火)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒岩・市原・原野・有菌・小山・工藤・鶴田・丸山・繰・岩元・徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1	5	2	8

前回の改善計画
話をして計画を立てている。ご利用者と話をすることで、得た情報で行動に移せたら良い。他の人が見れるように、記録に必ず残す。 ・地域の資源が分からない。関りが無い。→運営推進会議に参加しどんな人がいるのかを知る。 ・送迎時ご利用者と行動することで公民館など知る。→スタッフに相談して行く。ご利用者と話をする
前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議に参加しなかった。地域の資源を使つての支援が理解できていなかった。情報は得たが行動するまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	1	4	8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	0	0	8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	6	2	0	8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	7	1	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 出来る限り本人、家族の希望に沿って支援している。
	日々のケアの中で本人の状態の変化は記録に残している。朝礼で申し送りやミーティングを行い、情報を共有できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域の方から声をかけられるがお茶のみに行けていない。細かい心配りができていない。自分たちの事業所だけでご利用者を支えようとしている。地域の方と一緒に行動等を楽しむことができなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ご利用者自身の地域との繋がり、これまで関係性を知る為に先ずはご利用者ご本人にお聞きする。ご利用者ご本人の関係マップを朝礼やミーティングを利用して少しずつ書き足していく。(先ずは一人10個を目標にする)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年1月 9日 (火)

6. 連携・協働

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰、岩元、徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0	3	5	8

前回の改善計画	機関紙配りはみんなで順番に行く。1か月分の機関紙配りを2～3回に分けて配る。順番は勤務表の上から順番に配る。
前回の改善計画に対する取組み結果	機関紙配りは決まった配り方が出来なかった。機関紙を期日中に作成できなかった時もあった。地域の方から『これ使う?』と頂いた紙風船を利用した‘おまけ’を作り、機関紙と一緒に配布したところ、皆さんに喜んでもらえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	1	6	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	5	8
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	1	2	4	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	7	0	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 自治会・祇戸会、太鼓踊り保存会など地域の活動に参加している。 向花小学校、児童クラブの子供たちがきてくれた。夕涼み会を地域の方も一緒に企画することができた。 事業所が霧島市地域密着型事業者連合会の事務局をしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自治体・地域包括支援センターの会議を知らないから参加ができていない。地域担当がいて参加しているので自分が参加するという気持ちを持っていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) スタッフ自身がそれぞれの住んでいる地域行事に積極的に参加する。 児童クラブ全体の子供たちとの交流だけでなく、少人数のふれあいが出来ないかを検討する。 スタッフを知ってもらう上でも機関紙配りはみんなで順番に行く。1か月分の機関紙配りを2～3回に分けて配る。順番は勤務表の上から順番に配る。 スタッフ一人ひとりが地域行事を勤務表、リビング前の掲示板などで見て、担当の原野に確認し知ること、把握することに努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年1月18日 (木)

7. 運営

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰、岩元、徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6	2	0	8

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・向花小学校を回ってゴミ拾いを行い会った人にしっかり挨拶を行う。 ・畑に利用者さんをお連れすると、地域の方が話しかけてくれるので少しずつ、一人ずつ畑に行く。話ができる関係を積極的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	朝の地域のゴミ拾いを継続できている。また地域の方への挨拶を積極的にしようと心掛けている。挨拶はできるが会話をする事まではできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	3	4	1	8
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	2	0	8
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	5	1	8
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	4	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者・ご家族からの意見をスタッフで共有できている。地域行事で人手が不足した場合に協力できている。ゴミステーションでのゴミの置き方について地域の方から教えていただいたことを改善出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方からの苦情、意見を直接聞けるほど、地域との接点をつくれていない。ご利用者の家族から意見をお聞きしても運営に反映するとはどういう事かが解らない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 味噌作りや羽釜を使った料理など外での炊き出しをして地域の方と話しやすい雰囲気、状況をつくる。ご意見窓口を交流スペース玄関外側に設置し、機関紙で設置場所とご意見とそれに対する回答を掲載していく。向花小学校を回ってゴミ拾いを行い会った人にしっかり挨拶を行うということは継続して取り組む。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年1月18日 (木)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰、岩元、徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	1	5	0	8

前回の改善計画	年に1回は行きたい研修・イベントを自分で探し、参加を市原に申し出る。復命書を提出し、内容を発表する。(全体会議、職員研修を利用する)
前回の改善計画に対する取組み結果	自分から申し送りにある研修案内を見て探すなど行動することがなかった 行きたい研修を自分から探していない、研修内容を自分で確認することもなく行かなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	0	0	8
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	4	1	8
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	2	4	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	2	0	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修に行ったことでレクリエーションをしながらも意識してアンテナをはるようになった。 ライフサポートワーカーの研修に参加している。 月一回の定期職場内研修に毎回参加している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分から研修を探して行っていない、勧められた研修を受講しているだけである。 自分が行った研修の報告としては、復命書を提出するだけで終わっていて、全体に向けては報告をしていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) スタッフの持っている資格について、資格習得に必要なこと、資格のできる内容等含め知る機会を作る。 研修に参加したスタッフから、日々の現場で実践できる具体的な提案を1つ以上貰い、現場で取り組む。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30年1月18日 (木)

9. 人権・プライバシー

メンバー 黒岩、市原、原野、有菌、小山、工藤、鶴田、丸山、繰、岩元、徳永

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3	4	0	8

前回の改善計画
 ノックして「入います」など言葉を言ってから入る。自分が落ち着いて行動することが大事である。記録に関しては立ったら閉じるということをお先ず意識することから始める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご利用者がトイレに入っておられるときに、中の電気が点いていないことでノックをせずに入ってしまったこともあった。最近は意識して電気が点いていなくてもノックして返事を待つことを心がけるようになっている。記録が広げておいてあった時は、閉じたり片付けたりした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	2	6	0	0	8
②	虐待は行われていない	1	7	0	0	8
③	プライバシーが守られている	0	7	1	0	8
④	必要な方に成年後見制度を活用している	—	—	—	—	—
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	7	0	0	8

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者の状態に合わせたケアを行い、拘束はしていない。
 全員で意識して拘束（言葉・行動制限なども含めて）を行わないようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご利用者に急に介助に入る時など、記録を開いたままにしてその場から離れることがあった。
 『待って』という言葉を使ってしまうことがあった。尿取りパットなど慌てて、そのまま持って行くことがあった。隠すという配慮が欠けていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 現在、‘徳目’を使い、自分自身では日々を振り返るようにしているが、スタッフ同士で、お互いにご利用者の立場にたって日々の場面（自分たちの言葉使いなど）を振り返る機会をつくる、話し合う。
 トイレのドアはノックして「入います」など言葉を言ってから入るとい、当たり前行動を意識し続ける。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	7	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	7	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	7	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	2

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】</p> <p>※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に検討している。具体的に評価をしている。 ・地域と可能な限り接触をしようとしている。
<p>【前回の改善計画に対して意見】</p> <p>※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】</p> <p>※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画が立案された経緯について教えて欲しい。
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格習得はもちろんだが、ご利用者と接する中で学んでいくことが大切。ご利用者と接しながら自分たちの成長を行うのが大変だと思う。子供相手と違い、お年寄りには尊厳を持って接するのが大変だと思う。職員は自分の祖父母と生活した経験が6人あり、感覚として経験が必要ではないかと思う。文章で読むと、難しいなというのが感想。それだけの覚悟を持っている職員だと思う。朝日地区では出来ていることももっと広い地区にはどうなのか？研修に職員が行ける体制をとれているのが大変だと思う。事業所、職員の努力だけでは解決しないことがある。地域の私たちが協力していけることがあると思う。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・朝早くから、玄関が開いていて「暗いのに、寒いのに」って思う。
- ・事業所の外を歩く時に会話が聞こえる。

【前回の改善計画】

- ・たまにだが、お茶を出してもらったり、貰いに行ったりしている。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・たまには中でお茶をしたいと思うけど、ご利用者とどうなるかなって、思ったりしてあがりきれない。外に散歩などで出ている時や外でお茶をしている時は話ができる。
- ・畑の作業中にお茶を持ってきてくれたり、貰いに行ったりしている。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているなので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	7	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の方がどこまで知っているのか、浸透はしていないと思う。
- ・ご利用者を一生懸命にお世話しているのに自分のことを言うのは、と遠慮してしまう。

【前回の改善計画】

- ・交流スペースの存在が伝わってきている。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域の行事に「よいどこの〇〇です」と参加した時に挨拶して話をすれば良いのになど思っている。スタッフジャンパーを着るとか、目立つ工夫をしてみてもどうか。どういう所の人だと分かれば相談しやすくなるかもしれない。もう6年も続けている事業所が名前を前面に押し出しても、宣伝とは思わないのでは？
- ・府中のご利用者が居ると地域の方が事業所に来た時に話が弾むのだが、近いところは利用したくないという人が多い。敢えて遠くを利用する人が多い。今の地域の方とそば打ちなどはとても良いと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など)
- ・地域の方の相談日を設ける。機関紙に相談日を載せることで相談しやすくなる。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	0	4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1	0	6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報のことがあるので、情報を流せられない。
<p>【前回の改善計画】</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績は分からないが、運営推進会議に出席して努力は伝わる。後は受け手がどうなのか、浸透することかなと思う。 ・事業所に登録しているご利用者以外の方をお願いすることがある。包括のご利用者をお有償ボランティアとして利用させてもらっている。相談しやすい事業所である。 ・緊急時の相談が霧島市、警察からもあり、職員の勉強になっている。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もご利用者と地域の行事に参加させていただく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6	0	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・すべてに関わることは難しいので、会議での報告があり知ることが出来るのは有難い。

【前回の改善計画】

- ・会議の開催が有難い。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・皆さんで検討してもらいたくても個人情報があるので難しい。小学生の登下校での挨拶は安心できる。たまに地域じゃない人を見かけることがある。転入者で親御さんなのかとも思うが知りようがないことも困りごとである。

【改善計画】※後日記入

- ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取組みが分かるようにする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	0	5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	0	0
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	0

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】 設問‘2’は地域が行っていないので、参加していない。 ・周りの方に助けを貰う方向で考えたらどうか。</p>
<p>【前回の改善計画】 ・まだ、地域で取り掛かれない。人の助けは絶対必要なので、協力を貰いたい。</p>
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】 ・地域の女性防火クラブはメンバーが変わるので、最近はお手伝いができない。災害訓練に参加したことがあるが、実際の際はできないと実感した。難しい。繰り返し行う事が必要。課題が多い。各公民館で災害計画を立てるようになった。昼間は地域も人がいない、動けない。何が地域でできるのかを議論していくことからかなと思う。今できることを、避難場所に行くまでの道の環境を歩くことで知る。(生け垣が崩れやすくなっているなど) 地域の成り立ちを知る。あり得ないことと考えると訓練にならない、無いだろうと思うことも訓練する。過去の災害を知ることも大切だと思う。</p>
<p>【改善計画】※後日記入 ・事業所だけで訓練を行っていても、実際になると地域の方々のご協力を頂かなくてはならない。また、地域の方の手助けをするにも今のままでは困難である。地域の防災計画に参加する。その為には朝日地区の役などできることは行っていく。</p>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	代表取締役 黒岩尚文	法人・事業所の特徴	①介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放し、霧島市地域のひろば事業への参加。②管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。霧島市まちかど介護相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。③毎朝の地域のゴミ拾い。④ライフサポートプランの導入。⑤霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。
事業所名	地域サポートセンターよいどこい	管理者	黒岩尚文		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	人	1人	人	10人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・プライバシーの保護への取り組みを基本的なことから行っていく事で、日常の感覚を介護現場でも持ち続ける。(トイレ、脱衣場などへの入室の際はノックして、確認をする等)	・具体的な検討と評価をしようという意欲は充分感じる。	・資格習得はもちろんだが、ご利用者と接する中で学んでいくことが大切。お年寄りには尊厳を持って接するのが大変だと思う。感覚としてお年寄りとは接した経験が必要ではないかと思う。研修に職員が行ける体制をとれているのが大変だと思う。事業所、職員の努力だけでは解決しないことがあると思う	・職員みんなできちんと決めた事を続けていき、改善すべき点は改善をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。	・たまにだが、お茶を出してもらったり、貰いに行くことができる。	・たまには中に入って話をしていると思うが、ご利用者が、とか、みんな忙しいかなとか思い、あがりきれない。	・外でお茶などを行う事で、地域の方が話しやすくなる。市来さんの土地を借りて畑を作っているので、その場所を活用して、気軽に声を掛け合えるように環境を自分たちで工夫して作っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など)	・交流スペースの存在が伝わってきている。	・地域の行事の参加時に「よいどこいの〇〇です」と挨拶する、スタッフジャンパーを着るとか、目立つ工夫をしてみてもどうか。という所の人だと分かれば相談しやすくなるかもしれない。もう6年も続けている事業所が名前を前面に押し出しても、宣伝とは	・今年度の夕涼み会の運営会議に地域の方に参加してもらうことが出来たので、今年も引き続きお願いをすることと、積極的に行動を起こす事、継続することを考えて取り組んでいく。(ゴミ拾い、行事への参加など) ・地域の方の相談日を設ける。機

			<p>思わないのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中のご利用者が居ると地域の方が事業所に来た時に話が弾むのだが、近いところは利用したくないという人が多い。敢えて遠くを利用する人が多い。今の地域の方とそば打ちなどはとても良いと思う。 	<p>関紙に相談日を載せることで相談しやすくなる</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のご利用者との地域の行事に参加させていただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に出席して努力は伝わる。後は受け手がどうか、浸透することかなと思う。 ・事業所に登録しているご利用者以外の方をお願いすることがある。包括のご利用者を有償ボランティアとして利用させてもらっている。相談しやすい事業所である。 ・緊急時の相談が霧島市、警察からもあり、職員の勉強になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のご利用者との地域の行事に参加させていただく
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取り組みが分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催で助かっていると評価いただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんで検討してもらいたくても個人情報があるので難しい。小学生の登下校での挨拶は安心できる。たまに地域じゃない人を見かけることがある。転入者で親御さんなのかとも思うが知りようがないことも困りごとである 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さまの動向と職員の動向、事業所の催しなど毎回、報告し、地域の方に事業所の取り組みが分かるようにする
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度、夜間の避難訓練を地域の方で行う。その為に計画を一緒に考えていく場を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・普賢岳の噴火があり、計画が実行できていない。事業所の避難訓練のみで終わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の女性防火クラブはメンバーが変わるので、最近は事業所のお手伝いができない。災害訓練に参加したことがあるが、実際にはできないと実感した。難しい。繰り返し行う事が必要。課題が多い。各公民館で災害計画を立てるようになった。昼間は地域も人がいない、動けない。何が地域でできるのかを議論していくことからかなと思う。今できることを、 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所だけで訓練を行っても、実際になると地域の方々のご協力を頂かなくてはならない。また、地域の方の手助けをするにも今のままでは困難である。地域の防災計画に参加する。その為には朝日地区の役などできることは行っていく。

			避難場所に行くまでの道の環境を歩くことで知る。(生け垣が崩れやすくなっているなど) 地域の成り立ちを知る。あり得ないことと考えると訓練にならない、無いだろうと思うことも訓練する。過去の災害を知ること大切だと思う	
--	--	--	---	--